

第 2 回検討委員会における主な意見への対応

- (1) 【P4】 事業費や維持管理費をはじめとする運営経費はどの程度必要なのか
「〇億円」などの費用感を記載したほうがわかりやすい。

(回答) 【P15】 に、事業費の費用感を記載。
維持管理費の費用感は、第 4 回検討委員会で提示したい。

- (2) 【P9】 事業計画において市民利用が主軸だという事を、より強調して記載すべき。

(回答) 【P9】 に、事業方針の修正という方で記載。

- (3) 【P12～14】 それぞれの事業に、例えば相談件数 100 件などの評価目標が必要。
次回までに目標を入れていただければ議論が深まるのではないかと。

(回答) 第 4 回検討委員会の「10 その他（1）評価」の項目で提示したい。

- (4) 【P12～14】 部門毎に事業計画を作るだけでなく、市民会館と曳山展示場の 2 つ
の機能がどう融合してどのような事業をするのか記載が必要。

(回答) 【P13】 に記載。

- (5) 【P14】 定期的な展示の入替をするなら、自分たちの目標として展示替えの目安を
記載したほうがよい。

(回答) 【P14】 曳山展示事業の事業内容より、「定期的な」を削除。
現在、展示内容について協議中で、定期的に展示替えを行う必要があるか
が未定のため。

- (6) 曳山展示場の料金設定を示してほしい。市民料金設定の検討を行ってほしい。

(回答) 維持管理コスト、近隣の同規模施設の料金、市内の観光文化施設の料金な
どと調整を図りながら検討し、第 4 回検討委員会に提示したい。

(7) 事業予算を示した上で、各事業の予算が妥当かも評価しなければならない。
国交省が示している評価指標により、費用便益比が1を超えているかは大事な根拠づけになるので、求めに応じて提示できる準備は必要かと思う。

(回答) 国交省「公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針(平成21年6月)」は、事業の投資効率性を評価する費用便益分析の技術指針ではあるが、旧建設省、旧運輸省が、それぞれ作成した「社会資本整備に係る費用対効果分析にかかる指針」をベースに作られているため、新唐津市民会館(仮称)におけるソフト事業の便益分析にそのまま当てはめられるものではないと考えている。
一般財団法人地域創造「公共ホール・公共劇場の評価指針活用のすすめ(平成23年3月)」などを参考に、引き続き評価指針についての検討を行っていききたい。

(8) 有料の友の会は同様の取り組みの施設にリサーチした方がよい。
(一度会をつくると、継続させねばならなくなるから。)

(回答) 【P13】を修正。

(9) 市内の祭りの衣装など、実物展示は行うか。

(回答) 市内の祭り衣装などの実物展示にあたっては、

- ・ 展示品の借用に関する調整
- ・ 十分な展示スペースの確保(盗難、いたずらの防止)
- ・ 温湿度管理
- ・ 直射日光の遮断

など、課題はあるものの、展示設計協議の中で検討していきたい。

(10) 展示の入れ替えを行うならば、収蔵スペースについてももう少し検討が必要。

(回答) 新会館の中では十分な収蔵スペースは確保が難しいが、近隣の市内他施設も含めて、収蔵スペースを確保したい。

(11) 【P24】施設の管理運営においては、本市の地域活動など、本市の情報に詳しい方が必要と考える。的確な運営ができる人材が必要なので、文言としてあるとよい。

(回答) 【P24】を修正。